

個票

施策番号	0601	施策名	高齢者活動支援
副題	高齢者の就労や自主的な活動を支援し、社会参加を促進します		
事務事業名		所管課	頁
高齢者クラブ助成		地域包括ケア担当課	266
高齢者クラブ連合会助成		地域包括ケア担当課	267
シルバー人材センター助成		高齢者支援課	268
IT・活動情報サロン		地域包括ケア担当課	269
地域福祉活動費助成		地域包括ケア担当課	270
社会参加セミナー委託		地域包括ケア担当課	271
シニア就業支援事業費助成		地域包括ケア担当課	272
シルバーカレッジ		地域包括ケア担当課	273
生きがい支援講座事業		地域包括ケア担当課	274
ゲートボール場維持管理		地域包括ケア担当課	275
異世代・地域交流事業		地域包括ケア担当課	276
シニア向けパソコン講座等運営委託		地域包括ケア担当課	277
シニア活動支援センター維持管理		地域包括ケア担当課	278

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
高齢者クラブ助成	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	32,155	30,813	29,897	助成件数	件	142	137	135
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	③人件費	業務量(人)	0.55	0.55	0.55					
概ね60歳以上で、会員構成人数が概ね30人以上の高齢者団体に以下の助成を行う。 1 団体助成 高齢者クラブの種々の活動のうち、社会奉仕活動・生きがいを高める活動・健康づくり活動の事業を対象にして、クラブ会員数規模による月額単価で団体運営費を助成する。 2 事業助成 友愛実践活動事業助成、地域福祉活動事業助成を行う。					3,530	3,720	3,635						
					総コスト(①+②+③)	35,685	34,533	33,532	高齢者クラブ会員加入率	%	6.5	6.1	5.8
								高齢者クラブの会員数	人	9,081	8,498	8,148	

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
高齢者クラブ連合会 助成	福祉部 地域包括ケア担当課		—	決算	①執行額(千円)	1,442	1,682	1,655	高齢者クラブの団体数	クラブ	142	138	135
一般	4	2	1		②間接額(千円)	0	0	0					
					業務量(人)	0.55	0.55	0.55					
高齢者クラブ連合会が行う次の事業に要する経費を助成する。				③人件費		3,530	3,595	3,515	高齢者クラブの会員数	人	9,081	8,532	8,134
【助成内容】				総コスト(①+②+③)		4,972	5,277	5,170					
(1) 一般事業				/									
① 連合会の運営事業													
② 連合会会員の福祉向上と親睦に関する事業													
③ 連合会会員の知識の向上に関する事業													
④ その他連合会の目的達成に必要な事業													
(2) 特別事業													
① 指導者育成研修事業													
② 軽スポーツ事業													
③ 教養文化事業													
④ 連合会主催の事業													
(3) 管理運営費													
① 什器・備品													

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
シルバー人材センター助成	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	81,855	84,758	87,951	会員数(年度末時点)	人	2,790	2,851	2,863
	②間接額(千円)	0			0	0							
一般	4	2	1	3(3)	③人件費	0.20	0.20	0.20					
【概要】 シルバー人材センター事務局運営にかかる経費の一部を補助すること等により、就業を希望する多くの高齢者に適切な就業機会を提供するとともに高齢者の社会参加・生きがいを支援する。 【実施内容】 ・事務局及び作業所の職員人件費や管理運営費等に対して補助している。 ・作業所は、区とシルバー人材センターの間で公有財産無償貸付契約を締結している。					③人件費	1,520	1,580	1,540					
					総コスト(①+②+③)	83,375	86,338	89,491	就業延べ日数	日	304,634	315,171	315,488
/													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
IT・活動情報サロン	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	7,393	7,480	7,608	延べ来場者数	人	10,908	10,608	9,944
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	③人件費	業務量(人)	0.35	0.40	0.40					
【概要】						2,270	2,910	2,840					
シニアに関する情報の提供や各種事業、交流支援等を実施するとともに、シニアのパソコンのスキルアップをするための講座や相談業務を行う。				総コスト(①+②+③)		9,663	10,390	10,448	IT・活動情報サロン内のパソコン講座・パソコン相談数	人	522	879	525
【運営】													
NPO法人葛飾アクティブ・COMに委託													
【場所・開室時間】													
シニア活動支援センター地下1階、毎週日曜日～木曜日 午前9時～午後4時													
【事業内容】													
・喫茶軽食カフェ「Cha! Cha! Cha!」の運営													
・健康ダーツ、健康麻雀等の高齢者の仲間づくりや交流の支援													
・ボランティア活動等の情報提供やアドバイス													
・シニアフォーラムの開催、初心者リンパ体操、健康ダーツ等の体験講座													
・パソコン(아이폰・アンドロイド)講座の開催およびパソコンに関する相談業務													
・メールマガジン、情報誌「KACニュース」、ミニコミ誌「かつしかまちナビ」の発行													
・シニア活動支援センター情報誌「じぶんすたいる」の発行													
【受講料】													
・パソコン教室は月10回程度実施し、1回あたり平均1,000円程度													
・リンパ体操や趣味の講座は400円～1,500円													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
地域福祉活動費助成	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	88	67	0	助成団体数	団体	1	1	0
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1		業務量(人)	0.20	0.20	0.20					
				③人件費	1,000	1,080	1,300						
				総コスト(①+②+③)	1,088	1,147	1,300						
<p>【概要】 区内において自主的かつ継続的に介護予防の活動を行っている団体に対して、活動に伴う事業に要する経費の一部を助成する。</p> <p>【対象団体】 ① 会員が10人以上で、半数以上が60歳以上の区民である団体 ② 区内に活動拠点がある自主活動団体及び特定非営利活動法人 ※過去にこの助成金の交付を受けた団体を除く。</p> <p>【助成金額】 施設使用料や活動に必要な器具・器材の購入費、活動に係る人件費・材料費・保険料等について総額10万円を限度に助成する(施設使用料は10/10、他は必要経費の2/3を補助)。</p>													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標							
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5				
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)															
事業内容															
社会参加セミナー委託	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	396	726	726	セミナー参加者数	人	22	21	23		
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0							
一般	4	2	1	7(3)		③人件費	業務量(人)	0.35	0.30	0.30					
【概要】 シニアの方々を対象に、社会参加のきっかけ・仲間づくりや、ボランティアなど地域活動のための知識や技術を習得していただくために、社会参加セミナー(講座)を開催するもの 【内容】 1 講座の実施 講座は発表会や体験活動等、ボランティア活動に繋がる内容を全4回で開催する。 受講料は、教材費等の実費相当分を徴収する。 2 講座受講者への支援 講座終了後、高齢者の社会参加活動を支援するシニアボランティアとして、地域で活動できる担い手を育てるように、継続的に支援していく。				③人件費	2,660	2,370	2,310								
				総コスト(①+②+③)	3,056	3,096	3,036	講座終了後、自主グループ設立等の支援を行った数	グループ	1	1	0			

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標													
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5										
事業内容																					
シニア就業支援事業 費助成	福祉部 地域包括ケア担当課		—	決算	①執行額(千円)	13,541	14,198	14,678	就職者数	人	100	91	92								
一般	4	2	1		②間接額(千円)	0	0	0													
					業務量(人)	0.15	0.15	0.15													
				③人件費		1,140	1,185	1,155	求職者数	人	1,600	1,473	1,350								
葛飾区社会福祉協議会に対し、区が補助金を交付して、同協議会が無料職業紹介所「ワークスかつしか」を運営し、高齢者の経済的な自立や健康・生きがいを支援している。				総コスト(①+②+③)		14,681	15,383	15,833													
【内容】 就労情報の提供、求職者のニーズに応じた就業斡旋・就業相談、区内事業所を対象として雇用開拓等を行う(対象年齢は概ね55歳以上)。 【実施場所】 シニア活動支援センター1階 【相談時間】 月曜～金曜 午前9時～午後5時 【周知方法】 ・区広報紙、社協だよりへの掲載 ・区役所、ハローワーク等でのリーフレット配布																					
													求人開拓件数								

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標						
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5			
事業内容														
シルバーカレッジ	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	512	552	320	講座参加者数	人	151	192	190	
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0						
一般	4	2	1		業務量(人)	0.35	0.60	0.60						
				③人件費	2,140	3,990	3,900							
				総コスト(①+②+③)	2,652	4,542	4,220	講座開催数	回	4	4	4		
<p>1 概要 シニアが生きがいを持って豊かな生活を営むことができるようにテーマを選定して講座を実施し、生涯学習の機会を確保する。 4講座(1講座4回コース) 各定員80名 受講料500円(講師報償費の1/2程度) ※区民大学単位認定講座 令和4・5年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、4講座、各定員56名 受講料700円で実施</p> <p>2 対象者 区内在住の65歳以上</p> <p>3 募集方法 広報かつしか、チラシ、区ホームページ等で周知し、往復はがき、電子申請による申込み。 応募者が定員を上回った場合は抽選。 ※4講座中、1講座で要約筆記を取り入れている。</p>														

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標								
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5					
事業内容																
生きがい支援講座事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	824	1,212	1,182	講座参加者数	人	198	398	366			
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0								
一般	4	2	1		③人件費	0.70	0.60	0.60								
7(6)						4,020	3,990	3,900								
<p>1 実施講座 「優しいヨガ」「日本の歌を歌う」「羊毛フェルトで干支を作る」「シニアの英会話」「スタイリッシュダンス」など。令和4年度は12講座実施。</p> <p>2 回数 1講座2～8回</p> <p>3 受講料 事業経費（講師報償費）の1／2程度を受益者負担として設定（別途教材費）</p> <p>4 募集方法 広報かつしか、チラシ、区公式ホームページ等で周知し、往復はがきによる申込み。応募者が定員を上回った場合は初回優先で多数抽選。</p>					総コスト（①+②+③）	4,844	5,202	5,082	講座開催数	回	7	12	11			

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標													
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5										
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)																					
事業内容																					
ゲートボール場維持管理	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	740	589	531	ゲートボール場維持管理数	箇所	4	4	4								
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0													
一般	4	2	1		業務量(人)	0.10	0.10	0.10													
				③人件費		500	540	530													
				総コスト(①+②+③)		1,240	1,129	1,061													
<p>【概要】 区が公有地や民有地を活用してゲートボール場を設置し、管理している。令和4年度末現在4か所。 (内訳) ・公有地2か所(上千葉、西亀有) ・民有地2か所(上平井、立石) 【実施内容】 区は、主にハード面の維持管理を行う(土地、看板、コート、水飲み場等)。その他、民有地の一部について、土地の賃借料と維持費を支出している。利用調整及び清掃用具等の管理は、当該ゲートボール場を利用する高齢者クラブ等の団体間で行っている。</p>																					

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
異世代・地域交流事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	216	301	301	異世代・地域交流参加者数	人	214	436	212
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1		業務量(人)	0.45	0.55	0.55					
				③人件費	2,770	3,595	3,515						
<p>1 将棋を通じた異世代地域交流 葛飾区囲碁連盟、葛飾区将棋連盟に講師を依頼して実施している。 令和4年度は、将棋初心者講座、囲碁初心者講座の2講座を開催(将棋8回、囲碁8回)し、将棋異世代交流会(1回)を実施した。</p> <p>2 シニア週間記念行事による地域交流 9月の老人週間に合わせて、シニア週間記念行事を年1回実施している。 令和4年度は、記念公演、利用団体による作品展を開催。また、その様子をYouTube配信した。</p>				総コスト(①+②+③)	2,986	3,896	3,816	実施回数	回	16	18	19	

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標									
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5						
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)																	
事業内容																	
シニア向けパソコン講座等運営委託	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	4,272	4,241	4,279	パソコン何でも相談延べ件数	件	654	725	615				
一般	4	2	1		②間接額(千円)	0	0	0									
地域包括ケア担当課 7(9)				③人件費	業務量(人)	0.25	0.25	0.25									
【事業内容】 ・水元・たつみ・堀切憩い交流館でパソコン講座、パソコン相談の実施 ・高齢者の交流を目的とした地域福祉事業の実施(水元) (地域福祉事業の実施内容) リンパ体操、健康グッズ、墨彩画、懐かしの歌と映像の鑑賞、スマホ初心者講座、ミニ門松作り等 【受講料】 ・パソコン講座は月2回～4回実施し、1回あたり平均1,000円程度																	
				総コスト(①+②+③)		5,522	6,216	6,204	パソコン講座延べ参加者数	人	775	718	502				
									地域福祉事業延べ参加者数	人	1,581	826	1,246				

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
シニア活動支援センター維持管理	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	40,061	65,797	77,411	年間利用者数	人	35,532	39,790	36,053
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	3,148	0					
一般	4	2	2	1	③人件費	0.55	0.60	0.60					
【対象】 区内在住で55歳以上の方及び区内在住の55歳以上の方を中心とした団体				③人件費	4,050	4,740	4,620	年間団体活動施設利用数	数	973	1,281	1,331	
【事業内容】 ・シニアの方が安全で快適な時間を過ごせるよう、施設の設備保全と管理を行う。 ・シニアの社会参加及び介護予防事業の企画・運営、予算執行管理等を行う。				総コスト(①+②+③)	44,111	73,685	82,031						
【開館日・開館時間】 年末年始及び特別清掃日を除く通年、9:00～21:00 ※浴室は、祝日、年末年始を除く平日、12:00～15:00(R2.3.2から休止、R3.11.15から再開、R4.1.21から休止、R4.5.23から再開、R5.2.9から休止)				/									

個票

施策番号	0602	施策名	介護予防	
副題	高齢者の介護予防活動への支援を充実させます			
事務事業名		所管課	頁	
介護予防・生活支援サービス事業		介護保険課	280	
介護支援サポーター事業		地域包括ケア担当課	281	

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
介護予防・生活支援サービス事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	926,899	922,366	974,464	A型サービスの利用者	人	37,825	37,359	38,988
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
介護	3	1	1	1(1)等	③人件費	業務量(人)	1.50	1.50	1.50				
<p>1 経過</p> <p>介護予防・生活支援サービス事業は、介護保険法(以下、「法」という。)第115条の45の規定に基づく地域支援事業として実施しているものである。</p> <p>2 実施内容</p> <p>① 訪問型サービス(A型)</p> <p>ヘルパーが利用者の自宅に伺い、主に買い物や調理、清掃や洗濯などの家事を支援するもの。</p> <p>② 通所型サービス(A型)</p> <p>利用者がデイサービスに通い、リハ職等の支援を受け、重度化防止のための訓練を受けるもの。</p>				③人件費	11,400	11,850	11,550						
				総コスト(①+②+③)	938,299	934,216	986,014						

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標							
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5				
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)															
事業内容															
介護支援サポーター事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	14,272	12,086	12,916	介護支援サポーター登録者数	人	656	621	648		
	地域包括ケア担当課				②間接額(千円)	0	0	0							
介護	3	2	1	③人件費	業務量(人)	0.30	0.50	0.50	介護支援サポーター受入施設数	施設	95	95	94		
1(3)						1,760	3,200	3,130							
<p>介護支援サポーターとしての登録を受けた者が行うサポーター活動に応じてポイントを付与し、年度終了後、本人の申出によりポイントを換金又は寄付することができる。</p> <p>1 対象者 区内在住の満65歳以上の介護保険サービスを利用していない方</p> <p>2 登録方法 ・葛飾区社会福祉協議会の「説明会・基礎研修会」に参加して登録 ・シニア活動支援センターの「養成講座」に参加して登録</p> <p>3 活動内容 ・介護保険施設等での活動(話し相手、散歩の介護補助、身だしなみのお手伝い、配膳・下膳ほか) ・区内で行われている介護予防事業での運営指導活動</p> <p>4 評価ポイントの付与 ・1時間に1スタンプ(100ポイント=100円)、1日2スタンプが上限 ・介護予防事業の運営指導活動は1回につき1スタンプ</p> <p>5 管理機関 葛飾区社会福祉協議会(区が委託)</p>				総コスト(①+②+③)			16,032	15,286	16,046	介護支援サポーター説明会・基礎研修会実施回数	回	5	5	4	

個票

施策番号	0603	施策名	高齢者要介護・自立支援	
副題	高齢者が必要な介護や自立支援を受け、安心して生活できるようにします			
事務事業名		所管課	頁	
地域包括支援センター運営委託		高齢者支援課	284	
配食サービス事業(高齢者)		高齢者支援課	285	
家族介護者支援事業		高齢者支援課	286	
福祉総合窓口受付業務委託		高齢者支援課	287	
特別永住者給付金事業		高齢者支援課	288	
養護老人ホーム措置		高齢者支援課	289	
特別養護老人ホーム等措置		高齢者支援課	290	
おむつ支給・使用料助成(高齢者)		高齢者支援課	291	
出張理美容事業(高齢者)		高齢者支援課	292	
寝具乾燥消毒委託(高齢者)		高齢者支援課	293	
長寿慰労事務		高齢者支援課	294	
くつろぎ入浴事業		高齢者支援課	295	
高齢者自立支援住宅改修費助成		高齢者支援課	296	
高齢者住宅設備改修費助成		高齢者支援課	297	
高齢者虐待防止事業		高齢者支援課	298	
シルバーカー購入費助成		高齢者支援課	299	
救急医療情報キット給付事業		高齢者支援課	300	
見守り型緊急通報システム使用料助成(高齢者)		高齢者支援課	301	
家庭用卓上電磁調理器購入費助成		高齢者支援課	302	
補聴器購入費助成(高齢者)		高齢者支援課	303	
家族介護慰労金支給		介護保険課	304	
生計困難者等利用者負担額軽減		介護保険課	305	
高額介護サービス費等貸付金		介護保険課	306	
介護予防普及啓発案内作成等委託		介護保険課	307	
特別養護老人ホーム等大規模改修費助成		福祉管理課	308	
一般事務(介護保険)		介護保険課	309	
介護認定審査会運営		介護保険課	310	
介護認定調査		介護保険課	311	

個票

施策番号	0603	施策名	高齢者要介護・自立支援	
副題	高齢者が必要な介護や自立支援を受け、安心して生活できるようにします			
事務事業名		所管課	頁	
保険給付(介護保険)		介護保険課	312	
介護給付適正化推進事業		介護保険課	313	

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標								
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5					
事業内容																
地域包括支援センター 運営委託	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	505,254	524,481	524,356	75歳到達者戸別訪問による 生活課題把握 (75歳到達者戸別訪問実施件数 /75歳到達者人口)	%	0	100	100			
一般	3	3	1	1(1)	②間接額(千円)	0	0	0								
					③人件費 業務量(人)	2.50	2.50	2.50								
<p>地域包括支援センターは、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする機関」であり、地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能をお互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワークを構築しつつ、個別サービスのコーディネートをを行う地域の中核機関として設置され、次の事業を実施している。</p> <p>◆包括的支援事業 ・地域包括支援センターの運営 総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、介護予防ケアマネジメント ・社会保障充実分 在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、地域ケア会議推進事業</p> <p>◆介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護予防・生活支援サービス事業における介護予防ケアマネジメント ・一般介護予防事業</p> <p>◆任意事業 ・家族介護支援事業 ・多職種協働による地域包括支援ネットワーク ・指定介護予防支援</p>				総コスト(①+②+③)		524,254	544,231	543,606	75歳到達者戸別訪問 実施件数	件	0	6,765	7,567			
												高齢者総合相談センター 相談実人数	人	27,996	29,195	29,947
												(うち 初回相談実人数)	人	9,641	9,528	9,498
												(うち 認知症に関する相談延べ人数)	人	10,891	11,631	12,282

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
配食サービス事業 (高齢者)	福祉部		障害福祉課	決算	①執行額(千円)	167,412	175,753	167,983	利用食数	食	563,462	591,508	565,367
	高齢者支援課				②間接額(千円)	1,071	2,126	2,636					
一般	3	3	1	3(2)	業務量(人)	0.85	0.50	0.60					
【対象者】 65歳以上のひとり暮らし、高齢者のみ又は日中独居で、外出又は調理が困難な者				③人件費	4,900	3,950	4,620	利用者数	人	1,535	1,553	1,524	
【実施内容】 区と協定を結んだ配食事業者が、希望の曜日の昼食・夕食に調理済弁当を定期的に届けることにより、安否の確認を行う。				総コスト(①+②+③)	173,383	181,829	175,239						
【費用負担】 区は配送費及び安否確認費として1食につき330円を負担し、利用者はその1割33円と弁当代実費を事業者を支払う。													

個票

事務事業名				担当部	関係課	決算状況				活動指標										
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)				担当課		内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5							
事業内容																				
家族介護者支援事業				福祉部	—	決算	①執行額(千円)	717	3,023	2,476	おうちで学ぶ快適介護の利用者数	人	6	3	9					
一般				高齢者支援課			②間接額(千円)	0	0	0										
4	1	1	1	1(7)	③人件費	業務量(人)	0.25	0.25	0.25	家族介護者ほっとあんしんダイヤルの相談件数	件	—	64	221						
							総コスト(①+②+③)	1,900	1,975						1,925					
<p>介護が必要になった方が住み慣れた地域で生活を続けるためには、本人への支援のみならず、介護者である家族の身体的、精神的負担を和らげることが必要であることから、家族介護者に対する支援の充実を図るもの。</p> <p>1 おうちで学ぶ快適介護(訪問レッスン) 日常の介護で特に困難と感じている介護技術について、訪問アドバイザーが葛飾区内の主たる家族介護者または要介護者の居宅を訪問し、介護に関する知識や技術のレッスン及び区の高齢者福祉サービスの案内を行う。</p> <p>2 家族介護者ほっとあんしんダイヤル(令和4年10月開始) 家族介護者が保健福祉の専門資格を持つ相談員に電話相談できる体制を確保することで、家族介護者の身体的・心理的負担の軽減を図る。</p> <p>3 「家族介護者支援事業のご紹介」パンフレット(令和4年度作成)</p> <p>4 家族等介護者支援事業 高齢者を支えている介護者に休息や息抜きの日を提供するため、高齢者を小規模多機能事業所において、「通い」「泊り」の介護サービスを利用できるように支援する(令和5年度に「高齢者虐待防止事業」から「家族介護者支援事業」へ移行した。)</p> <p>※高齢者に限らず広く家族介護者を対象とする事業であるため、令和4年度から「高齢者福祉総務費総務事務費」から移行した。</p>							家族等介護支援事業の利用者数	件	—	—	1									

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標						
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）														
事業内容														
福祉総合窓口受付業務委託	福祉部		障害福祉課 介護保険課	決算	①執行額(千円)	5,985	5,874	6,138	来庁者の案内件数	件	33,461	34,219	34,727	
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	0						
一般	4	1	1		③人件費	0.10	0.10	0.10						
						760	790	770						
					総コスト(①+②+③)	6,745	6,664	6,908	福祉総合窓口の業務以外の案内件数	件	662	597	623	
福祉総合窓口は、「迷わない」「動かない」「待たない」窓口の実現を基本コンセプトに平成23年1月から開始した。 平成24年度から、来庁者への案内と担当職員への連絡業務を委託して実施している。														

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
特別永住者給付金事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	285	180	180	受給者数	人	2	1	1
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	③人件費	業務量(人)	0.05	0.05	0.05					
【対象者】 大正15年4月1日以前に生まれ、区内に2年以上居住の特別永住者の方(公的年金受給者、生活保護受給者、老人ホーム入所者、重度心身障害者特別給付金受給者は対象外、本人の所得制限あり)						380	395	385					
【実施内容】 国民年金制度上、老齢基礎年金等を受けることが出来ない在日外国人等に支給する。													
【支給金額】 月額15,000円													
						総コスト(①+②+③)	665	575	565				

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標							
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5				
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)															
事業内容															
養護老人ホーム措置	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	451,412	428,399	400,585	養護老人ホーム入所者数	人	203	188	174		
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	350	318							
一般	4	2	1	2(1)	③人件費	1.50	1.55	1.60							
						11,400	12,245	12,320							
					総コスト(①+②+③)	462,812	440,994	413,223	介護保険施設への移行者数	人	4	3	5		
<p>老人福祉法第11条第1項第1号の規定により、65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者について、養護老人ホームへの入所を措置する。</p>					/										

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
特別養護老人ホーム 等措置	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	7,762	12,084	3,839	措置開始者数	人	18	16	8
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	54	47					
一般	4	2	1	2(2)	③人件費	1.20	1.20	1.25					
老人福祉法第10条の4及び第11条第1項第2号に基づき、身体や精神の障害が著しく生命や身体に関わる危険性が高い場合や、虐待等により高齢者を保護する必要がある場合など、やむを得ない事由により特別養護老人ホーム等への入所を措置する。						9,120	9,480	9,625					
					総コスト(①+②+③)	16,882	21,618	13,511	措置終了者数	人	11	20	11
/													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
おむつ支給・使用料 助成(高齢者)	福祉部		障害福祉課	決算	①執行額(千円)	119,239	129,901	151,786	利用者数	人	2,043	2,191	2,280
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	4(1)	業務量(人)	1.00	1.15	1.10					
【対象者】 住民税非課税世帯に属する常時失禁状態の方のうち、次のいずれかに該当する者 ・要介護度が2以上の者(65歳未満で特定疾病により認定を受けている者を含む) ・65歳以上で、身体障害者手帳1,2級か愛の手帳1,2度を所持している者 ・65歳以上で、脳性まひか進行性筋萎縮症の者				③人件費	7,600	6,210	8,230						
【現物支給】 区が作成したカタログからポイント制(要介護度等に応じて上限ポイント有)で紙おむつの種類・数量・組み合わせを自由に選択し、区と契約した事業者が自宅などに配送する。				総コスト(①+②+③)	126,839	136,111	160,016						
【使用料助成】 入院等で病院等から指定された紙おむつしか使用できない場合は、おむつ代金の一部を助成する。要介護度等に応じて、支給できる助成限度額を定めている。													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
出張理美容事業(高齢者)	福祉部		障害福祉課	決算	①執行額(千円)	12,661	13,593	14,207	サービス提供回数	回	2,624	2,818	2,947
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	1,054					
一般	4	2	1	4(2)	業務量(人)	0.40	0.40	0.10					
【対象者】				③人件費	1,160	1,240	770						
・在宅の65歳以上(65歳未満で特定疾病により介護認定を受けている者を含む)で要介護3以上の介護認定を受け外出が困難な者				総コスト(①+②+③)	13,821	14,833	16,031						
・65歳以上で身体障害者手帳1、2級もしくは愛の手帳1、2度を所持し、外出が困難な者													
【実施内容】													
区内の理容業者組合及び美容業者組合と委託契約し、高齢者の自宅で理美容サービスを行う。利用は年6回(申請月によって利用回数は異なる)までとする。													
【費用負担】													
利用者負担は調髪・カットともに1回当たり500円とし、区は1回当たり4,800円(出張料+事務手数料)を負担する。													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
寝具乾燥消毒委託 (高齢者)	福祉部		障害福祉課	決算	①執行額(千円)	11,832	11,975	11,288	サービス提供回数	回	3,361	3,089	2,727
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1		業務量(人)	0.10	0.25	0.05					
【対象者】 ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、寝具乾燥できる者が世帯の中にいないなど、寝具乾燥等の作業が困難な状態にある者				③人件費	760	1,975	385						
【実施内容】 毎月、区と契約した事業者が自宅に訪問し、寝具(掛・敷布団・毛布・マットレス各1)を回収して、乾燥消毒した後返却する。年12回実施し、7月は水洗い乾燥消毒を行う。 また、寝具乾燥作業当日、不在で連絡がとれなかった利用者については、高齢者支援課で状況確認(安否確認)を行う。				総コスト(①+②+③)	12,592	13,950	11,673						
【費用負担】 契約単価の1割相当額を毎月、利用者から徴収する。 乾燥消毒 410円/回、水洗い乾燥消毒 860円/回(令和5年度)													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
長寿慰労事務	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	61,718	64,874	70,981	贈呈者数	人	2,722	2,888	3,154
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	5(1)	③人件費	0.70	0.60	0.80					
【対象者】 88歳(米寿)・99歳(白寿)並びに、100歳以上の誕生日を迎えた者 【実施内容】 民生委員に依頼し、毎月、対象者の誕生日以降に寿状、祝金等を贈呈する。 88歳：祝金20,000円・寿状 99歳：祝金30,000円・寿状 100歳：祝金50,000円・寿状・記念品 101歳以上：祝金30,000円 最高齢者(最高齢である者の基準日は9月1日)：記念品 ※100歳と最高齢者への祝い品は本人等が希望すれば区長が訪問して贈呈する。					業務量(人)	5,320	4,490	6,160					
					総コスト(①+②+③)	67,038	69,364	77,141					

個票

事務事業名		担当部	関係課	決算状況				活動指標					
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)		担当課		内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
くつろぎ入浴事業		福祉部 高齢者支援課	—	決算	①執行額(千円)	95,699	94,442	98,650	年間延べ利用者数	人	389,536	367,832	369,332
一般 4 2 1		5(2)		②間接額(千円)	0	0	0						
				③人件費	業務量(人)	0.20	0.20	0.05					
				総コスト(①+②+③)	1,520	1,580	385						
<p>【対象者】 70歳以上の者(新しく70歳になる方は70歳の誕生日の初日から対象)</p> <p>【実施内容】 東京都公衆浴場業生活衛生同業組合葛飾支部と足立支部に委託して実施。希望者に「くつろぎ入浴証」を発行する。対象となる公衆浴場は、葛飾区のすべて浴場(24浴場、令和5年12月末に浴場が閉店したため23浴場)と足立区の2浴場。</p> <p>【費用負担】 利用者は浴場利用料500円のうち、1回250円を負担する。区は利用料250円と事務経費を負担する(令和5年7月1日より浴場利用料が500円から520円に値上げされたことに伴い、利用者負担額は250円から260円に、区負担額は250円から260円に改定)。</p>													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
高齢者自立支援住宅 改修費助成	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	40,405	35,935	36,387	助成人数	人	265	245	246
					②間接額(千円)	0	0	0					
一般 4 2 1	6(1)			③人件費	業務量(人)	0.45	0.30	0.15					
【対象者】 在宅生活をしている「65歳からのいきいき元気度チェック」で運動機能が低下している者及びこれに準ずる者 【助成金額】 在宅での生活を継続するために住宅改修が必要と認められる者に対し、転倒予防等のための住宅改修に要する経費を助成する。 助成対象工事限度額は200,000円。助成対象となる工事は、①手すりの取り付け②段差の解消③滑り防止・移動の円滑化のための床材の変更④引き戸等への扉の取替及び新設⑤和式便器の洋式化 【費用負担】 限度額内の対象工事費の10%及び限度額を超えた分や対象外工事費は利用者が負担する。平成29年度から生活保護受給者の利用者負担はなし。													
					総コスト(①+②+③)	42,655	37,825	37,542					
				/									

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
高齢者住宅設備改修 費助成	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	57,619	36,554	34,508	助成人数	人	171	111	96
					②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	③人件費	業務量(人)	0.45	0.30	0.20					
【対象者】 65歳以上(40~64歳で特定疾病により介護認定を受けている者も含む)の在宅生活をしている者で、要支援・要介護認定を受けており、在宅での生活を継続するために住宅改修が必要と認められる者						2,250	1,890	1,540					
【助成金額】 助成対象工事限度額は①浴槽の取替：379,000円 ②流し台・洗面台の取替：156,000円③階段昇降機：1,332,000円													
【費用負担】 限度額内の対象工事費の10%~30%及び限度額を超えた分や対象外工事費は利用者が負担する。平成29年度から生活保護受給者の利用者負担はなし。													
				総コスト(①+②+③)		59,869	38,444	36,048					

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
高齢者虐待防止事業	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	4,229	4,709	1,196	虐待通報相談件数	件	2,740	3,063	3,275
	②間接額(千円)	0			500	116							
一般	4	2	1	6(3)	③人件費	3.30	2.95	3.55					
<p>緊急に保護が必要な高齢者について、シェルター施設等を活用して安全を確保する。あわせて、高齢者の尊厳の保持という観点から、区及び地域の関係機関等の連携により、地域における高齢者虐待防止のためのネットワークの形成及びその運用を行い、もって、高齢者が安心して生活できる「虐待ゼロ」の地域社会づくりをめざす。</p> <p>1 要保護高齢者の緊急保護 2 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会 3 虐待事例検証会 4 普及啓発事業 5 家族等介護支援事業（令和5年度に「高齢者虐待防止事業」から「家族介護者支援事業」へ移行した。）</p>					③人件費	25,080	23,305	27,335					
					総コスト(①+②+③)	29,309	28,514	28,647	シェルター保護実績	人	12	9	13
									虐待対応最終件数	件	50	44	48
									高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会開催回数	回	1	1	3
									虐待事例検証会議開催回数	回	3	2	3
									虐待防止に関する研修会等の開催回数	回	1	3	4
									家族等介護支援事業の利用者数	人	1	1	—

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標							
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5				
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)															
事業内容															
シルバーカー購入費 助成	福祉部 高齢者支援課		—	決算	①執行額(千円)	823	1,093	1,082	助成件数	件	89	117	98		
一般	4	2	1	6(4)	②間接額(千円)	0	0	791							
					③人件費 業務量(人)	0.10	0.10	0.00							
【対象者】 「65歳からのいきいき元気度チェック」で運動機能の低下が認められる者及びこれに準ずる者または介護保険の要支援認定を受けた者で、住民税が非課税の者又は生活保護受給者				③人件費				290	310	0					
【実施内容】 利用者と高齢者総合相談センター職員又はケアマネジャーが、区が選定したシルバーカーの機種の中から利用者の身体状態や希望に合わせて選び、区と契約した事業者が製品を納入する。				総コスト(①+②+③)				1,113	1,403	1,873					
【助成金額】 区がシルバーカーの購入費用の2/3を助成する(区負担限度額13,340円)。利用者は購入費用の1/3を負担する。															

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標						
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5			
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)														
事業内容														
救急医療情報キット 給付事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	55	56	301	給付件数(累計)	件	7,491	8,158	10,637	
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	165						
一般	4	2	1	6(6)	③人件費	業務量(人)	0.05	0.10						0.10
【対象者】 65歳以上のひとり暮らしの者、日中または夜間に一人になることのある者、または同居する家族が認知症等によりひとり暮らしと同様の状況にある者など 【実施内容】 かかりつけ医療機関や持病等の緊急時に必要な情報を保管する救急医療情報キットを、葛飾区医師会所属医療機関、区役所高齢者支援課及び各高齢者総合相談センターの窓口で給付する。 令和5年度から、配食サービス利用者へ配布。				③人件費	380	790	770							
				総コスト(①+②+③)	435	846	1,236							
				/										

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
見守り型緊急通報システム使用料助成(高齢者)	福祉部		障害福祉課	決算	①執行額(千円)	27,103	26,413	27,542	見守り型緊急通報システム設置世帯数(年度末時点)	世帯	780	780	848
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	1,318					
一般	4	2	1	6(7)	業務量(人)	0.50	0.90	0.80					
【実施方法】				③人件費	3,800	6,860	6,160						
1 見守り型緊急通報システム使用料助成 利用者の自宅に安全を確認する機器(無線通報機・火災感知器・ガス漏れ感知器・日常生活異常感知器)を設置し、緊急の場合は区と契約する警備会社の係員が駆けつけ、救急車の出動要請・緊急連絡先(親族等)への連絡等の対応を行う。				総コスト(①+②+③)	30,903	33,273	35,020	見守り型緊急通報システム利用延べ月数	月	9,378	9,250	9,766	
2 見守りサービス助成(平成29年度事業開始) 民間事業者が機器を設置することにより、家族等がパソコンやスマートフォン等で高齢者の日常生活を見守る。								見守り型緊急通報システム緊急対応(出動)件数	件	508	585	435	
【助成金額】								見守り型緊急通報システム救急車出動要請数	件	84	107	88	
1 見守り型緊急通報システム使用料助成 利用者は、機器を設置した翌月から本人の課税状況によりあらかじめ区が定めた使用料を毎月負担する。 費用負担(平成26年度～) 住民税課税者1,750円/月・住民税非課税者700円/月								見守りサービス助成件数	件	7	4	6	
2 見守りサービス助成 家族等がパソコンやスマートフォン等を利用する際に、初期設置費用(ない場合は最初の1か月の利用料)の9割を助成する。(限度額:13,500円)													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）													
事業内容													
家庭用卓上電磁調理器 購入費助成	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	410	320	138	助成件数	件	24	19	8
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	165					
一般	4	2	1	6(8)		③人件費	業務量(人)	0.05	0.10	0.05			
【対象者】 見守り型緊急通報システムを利用している世帯のうち、介護認定が要支援2までの者で、配食サービスを受けていない者								380	790	385			
【実施内容】 区が設定した家庭用卓上電磁調理器及び専用調理器具（片手鍋、両手鍋、ケトル、フライパン）の組み合わせの中から限度額の範囲内で利用者が選択し、購入費の一部を助成する。													
【助成金額】 購入費用の限度額は20,000円（自己負担は1割）で、助成は1世帯につき1回限りとする。													
								790	1,110	688			

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
補聴器購入費助成 (高齢者)	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	5,587	5,693	6,664	助成件数	件	161	164	191
	高齢者支援課				②間接額(千円)	0	0	791					
一般	4	2	1	6(9)	③人件費	0.40	0.30	0.00					
【対象者】 65歳以上で住民税非課税世帯に属し、医師が補聴器の使用の必要性を認めた者 【助成金額】 35,000円を限度に購入費用の範囲内で助成する。助成は1人1回限りとする。				④総コスト(①+②+③)	1,160	930	0						
					6,747	6,623	7,455						

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
家族介護慰労金支給	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	400	400	200	家族介護慰労金支給件数	件	4	4	2
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	9(1)②	③人件費	0.10	0.10	0.10					
<p>要介護4・5の認定を受けている方(住民税非課税世帯)が、1年以上介護保険サービスを利用せず(7日以内の短期入所生活介護・短期入所療養介護を除く)家族が介護を行った場合、年1回10万円を支給する。</p>						760	790	770					
					総コスト(①+②+③)	1,160	1,190	970					
					/								

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
生計困難者等利用者 負担額軽減	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	5,553	6,360	8,469	生計困難者等利用者負担額軽減 延べ利用者数	人	812	816	900
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	9(1)①	③人件費	0.10	0.10	0.10					
事業者の訪問介護等のサービスに対し、自己負担額(1割負担)を25%減額する。						760	790	770					
					総コスト(①+②+③)	6,313	7,150	9,239					

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標						
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5			
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)														
事業内容														
高額介護サービス費 等貸付金	福祉部	介護保険課	—	決算	①執行額(千円)	0	0	0	高額介護サービス費等貸付件数	件	0	0	0	
一般	4	2	1	9(3)	②間接額(千円)	0	0	0						
					③人件費	業務量(人)	0.05	0.05						0.05
【事業概要】 介護サービス利用による費用を一時的に支払うことが困難な利用者に、高額介護サービス費・住宅改修費・福祉用具購入費等が支給されるまでの間、無利子で支給予定相当額を貸し付ける。 【貸付の基準】 自己負担額の基準額						380	395	385						
						総コスト(①+②+③)	380	395	385					
				/										

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
介護予防普及啓発案内作成等委託	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	2,488	2,630	2,776	介護保険制度等周知用パンフレット発行部数	部	22,000	20,000	20,000
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
一般	4	2	1	③人件費	業務量(人)	0.10	0.10	0.10					
						760	790	770					
					総コスト(①+②+③)	3,248	3,420	3,546	65歳到達者用ミニパンフレット発行部数	部	6,486	6,026	6,714
介護保険制度等周知用パンフレット「介護保険制度と高齢者保健福祉サービスのご案内」及び65歳到達者用簡易版パンフレット「介護保険のお知らせ」の発行 (令和5年度までは介護特別会計で実施)					/								

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
特別養護老人ホーム 等大規模改修費助成	福祉部 福祉管理課		—	決算	①執行額(千円)	9,985	62,869	12,250	施設改修数	箇所	2	5	1
一般	4	2	1		②間接額(千円)	0	0	0					
					③人件費 業務量(人)	0.60	0.25	0.20					
<p>介護保険法の施行に伴い、葛飾区が設置し社会福祉法人に運営を委託していた特別養護老人ホーム、短期入所生活介護(ショートステイ)及び在宅サービスセンターについては、事業主体を社会福祉法人に移管(平成13年4月1日、在宅サービスセンターの単独型のみ平成14年4月1日)した。</p> <p>その後、区は、平成21年1月に補助要綱を定め、施設の大規模改修に要する経費の3/4及び災害復旧に要する経費の10/10を補助することにより、施設の利用者に良好な介護サービスを提供できる環境を確保し、高齢者福祉の向上に努めている。</p> <p>また、区は令和元年度に民設民営の特別養護老人ホーム(併設する短期入所生活介護を含む)の大規模改修に要する経費の一部を補助する要綱を定め、補助対象施設を拡大し、より一層の高齢者福祉の向上に努めている。</p>													
									総コスト(①+②+③)	14,545	64,844	13,790	改修相談件数
/													

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標								
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5					
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)																
事業内容																
一般事務(介護保険)	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	30,810	33,002	34,986	介護保険第1号被保険者数	人	114,548	114,215	114,049			
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0								
介護	1	1	1	③人件費	業務量(人)	5.40	5.40	5.40								
<p>介護への不安を解消し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、高齢者を社会全体で支える制度として平成12年度より事業を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上(第1号被保険者)の資格を管理し、被保険者証を発行する。 ・第1号被保険者の介護保険料は、世帯や所得の状況に応じて15段階に分け、賦課し徴収する。 ・介護保険条例及び特別会計の管理、統計処理等を行う。 ・介護保険事業審議会や地域密着型サービス運営委員会を開催する。 ・介護認定申請等の事務を効率的に行う。 				総コスト(①+②+③)	41,040	42,660	41,580									
								総コスト(①+②+③)	71,850	75,662	76,566	介護保険事業審議会開催回数	回	2	2	5
												地域密着型サービス運営委員会開催回数	回	2	1	2

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5		単位	R3	R4	R5	
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
介護認定審査会運営	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	123,924	183,554	167,304	介護認定審査者数	人	22,195	31,011	20,333
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
介護	1	1	2	—	③人件費	9.30	7.20	7.20					
<p>申請に基づき、対象者宅等に訪問調査を行うとともに、主治医意見を徴取する。 訪問調査票及び主治医意見書をもとに介護認定審査会において要支援・要介護度を審査・判定する。</p> <p>介護認定審査会は、医療・保健・福祉の専門家で構成され、謝礼金は、委員長22,000円/回、その他の委員は20,000円/回、1回の審査会では、35人程度の介護度を判定する。原則、申請日から30日以内に認定結果通知及び介護度が記載された被保険者証を被保険者に郵送する。</p>					70,680	56,880	53,040						
					総コスト(①+②+③)	194,604	240,434	220,344	介護認定審査会開催回数	回	470	620	601

個票

事務事業名	担当部 担当課		関係課	決算状況				活動指標					
	予算説明書(会計、款、項、目、説明等)			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
事業内容													
介護認定調査	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	89,498	130,394	133,918	延べ介護認定調査数	件	13,231	22,892	19,840
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
介護	1	1	3		③人件費	6.30	7.00	8.30					
支援及び介護が必要な被保険者が、介護保険課、保健所、各保健センターなど区の窓口で、要支援・要介護認定を申請する。 申請を受け、区の職員又は区の委託を受けた居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、申請者等と相談のうえ訪問日を決定し、申請者宅や入院先の病院に訪問調査を行う。						45,280	48,000	57,010					
						総コスト(①+②+③)	134,778	178,394	190,928				

個票

事務事業名		担当部 担当課	関係課	決算状況				活動指標							
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）							内訳	R3	R4	R5		単位	R3	R4	R5
事業内容															
保険給付（介護保 険）		福祉部 介護保険課	—	決算	①執行額(千円)	36,819,255	37,395,276	39,025,018	給付費の請求件数	件	668,763	691,494	722,919		
					②間接額(千円)	2,910	3,100	0							
介護	2	—	—		③人件費 業務量(人)	11.55	8.40	8.40							
介護サービスを利用した要支援・要介護者は、 介護報酬の1割～3割を事業者に支払い、事業者 は9割～7割を保険請求し、区は事業者の請求に 基づき、国保連を通じ介護保険給付費を支給す る。（割合は平成30年8月～の場合） 住宅改修・福祉用具購入・高額介護サービス費 については、要支援・介護者等からの申請に基づ き、区が直接被保険者等に給付する。															
												総コスト（①+②+③）	36,909,945	37,464,736	39,089,698

個票

事務事業名	担当部		関係課	決算状況				活動指標					
	担当課			内訳	R3	R4	R5	単位	R3	R4	R5		
予算説明書(会計、款、項、目、説明等)													
事業内容													
介護給付適正化推進事業	福祉部		—	決算	①執行額(千円)	9,512	7,268	8,010	ケアプラン点検数	件	210	147	129
	介護保険課				②間接額(千円)	0	0	0					
介護	3	3	1	③人件費	業務量(人)	1.30	1.30	1.30					
介護の給付状況について、保険者の責務として点検・確認し、介護保険制度の持続可能性を確保することを目的とする。 以下5事業により行うが、平成31年度からは特に②福祉用具・住宅改修の点検、③ケアプラン点検について内容を強化している。また、⑤介護給付費通知事業については、国が見直しの方針を示したことからR5で事業を廃止する。 ①要介護認定の適正化 ②福祉用具・住宅改修の点検 ③ケアプラン点検 ④医療情報突合及び縦覧点検 ⑤介護給付費通知(R5で事業廃止)					③人件費	9,880	10,270	10,010					
					総コスト(①+②+③)	19,392	17,538	18,020	福祉用具・住宅改修実地確認数	件	1	0	3
/													